

**金曜コラム - 2019.7.12 スポーツ革新委の勧告を支持して
カン・シヌク（檀国大学校教授）**

去る6月4日、スポーツ革新委（以下、革新委）は政府に対する2次勧告案を発表した。スポーツ界の人権侵害対応システムの全面革新のための4月19日1次勧告に続く発表であった。今回の2次勧告の内容の核心は、今後小、中、高等学校の平日大会禁止、少年体育大会運営方法の改善、体育特技者の大学入試選考の改善などである。

事実、今回の勧告案は事新しいものではない。十数年前からスポーツ界ではすでに常に提起されてきた問題だったからだ。予想していたことだが発表直後、スポーツ界の一部で心配や懸念、批判が急増している。スポーツ界が変わらなければならないという総論には同意するが、実践のための各論に同意することができないという反発だ。現場の声が十分に考慮されておらず、机上の空論だという批判が主流をなす。さらに革新委の案の通りにしたらエリートスポーツは滅びるとまで言う。このようなことがあるたびに、常に出てくる話だ。

批判の一部の内容に共感する。特に革新委に利害関係者の意見がより積極的に反映されるべきだったという主張に同意する。革新委活動が続けば今後の議論の過程で様々な批判的な声を聞く姿勢が必要だと思う。

ところが革新委が如何ほどの事情があつて、そのような案を提案したのかという点も、私たちは考える必要がある。10年前、20年前にも同じような事件が相次ぎ、体育人多数に深い傷を残した事件が少なくなかった。しかし、その当時、しばらく騒がしかっただけで、その後変わった事はほとんどない。特に暴力、性暴力の問題、合宿所の問題、体育特技者入試不正問題、スポーツ団体私有化問題などは、お互いに隠したからだろう、10年、20年前とあまり変わらない。いざ非難を受けて、問題を解決しなければならない文体部と大韓体育会は後ろに隠れて、危機收拾のために前面に出た革新委が批判と攻撃の対象となる雰囲気も過去と全く変わらない。実に奇妙で残念なことである。

革新委は革新委の機能をすればよい。勧告案を受け入れない、受け入れるは文体部と教育部、そして大韓体育会が行うことである。革新委が攻撃されることはない。少なくとも総論が間違えていない場合だ。むしろ革新委の勧告案が声だけ騒がしくするだけで中身が甘いという考えである。さらに一步進むにはこの甘いこの勧告案さえも、この言い訳、あの言い訳をつけながら、今後うやむやになるのではないかと心配だ。

運動選手の10%程度だけが選手と指導者の生活をする事ができ、ほぼ全種目にわたって選手需給にあえぐのが昨今のスポーツ界の現実である。したがって運動選手の進路と人権の問題、そして指導者の劣悪な社会的、経済的処遇はいくら努力をしても不足している状況だ。多少不十分であってもシム・ソクヒ選手の痛みを契機とした革新委の勧告は、このような努力の一環とみられる。くれぐれも古く馴染んだ制度に決して執着してはならない。U-20サッカー大会で示したように、誇りに思って私たちの若い選手たちと指導者が、より澄んだ明るい環境で夢を育てることができるよう、新しい制度での挑戦を私たちは皆、恐れてはならない。

※この記事は、2019年6月24日<イーデイリー>に掲載された記事です。

出典：<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01088966622525656&mediaCodeNo=258>

01 KBS 2019.7.10

【 朴ヤンウ文体部長官「スポーツ革新委勧告履行の意志しっかり」 】

[アンカー]

スポーツ革新委員会の学校体育勧告をめぐって熱い賛否論議が起きています。何よりも政策の執行機関である文化体育観光部の意志が重要でしょう。朴ヤンウ文体部新任長官がKBSとの単独インタビューで、革新委勧告推進への強い意志を明らかにしました。KBS ジョン・ジェヨンスポーツ取材部長が直接会いました。

[質問]

長官、今日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。今お感じになっている事でスポーツ界最大の懸案は何だと考えますか。

[回答]

何はともあれスポーツ革新委問題ではないかと思います。政府樹立後に継続してエリート体育を育てる問題がカギとなってきて、2000年代に入って実際、生活体育との間で選手たちの人権問題などはおろそかにされたと見る事ができるでしょう。

[質問]

ところが最近のスポーツ革新委勧告案、特に学校体育勧告案がかなり今、破裂音とでも言いましょうか？かなり多くの論議の中心になっていますね？

[回答]

事実、擁護する側もあり、一方では、現実性が不足するという反論もありますが、基本的に学生の学習権と人権を最終的に保証する方向で行かなければなりません。

[質問]

スポーツ革新委の学校体育勧告案はエリートスポーツを殺す事ですか？

[回答]

どのようにすれば偉大な選手たちを育てて育成することができるかを勧告するので決してエリート体育を殺すことではありません。

[質問]

週末の大会を種目ごとに切り替えが可能でしょうか。

[回答]

もちろん種目別で差はあるでしょう。ある場合には、すぐに週末は難しいでしょう。基本的には来年からすぐに実施することができる種目から施行することです。

[質問]

少年体育大会廃止か、または拡大改編するのかは、誤解や懸念があると思われます。

[回答]

むしろこれを拡大して学生祝典のように運営するという事であって、既存の選手たちの競争や、後で選

手を育成する窓口をふさぐことではないという点を認識したらと思います。

[質問]

「これまで政府から助けてもらった事はない。どのように協会の力で変えるのか」という訴えをたくさん聞きます。

[回答]

政府からは、そのような必要な支援を惜しみなくする準備ができたという言葉を申し上げ、しかし今まで実施していなかったもので、恐れている心を開いていただいて、十分頭を突き合せれば案が出てきて、そこへの支援は政府の意志があると申し上げます。

原文出所

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4239808&ref=A>

02 京郷新聞 2019. 7. 11

【 ワールドカップイヤー、ニューヨークまで占領したミーガン・ラピノー 】

米国女子サッカー代表チーム主将ミーガン・ラピノーを見ると、人間の品格やうつわ、ユーモア、堂々とした姿勢などの価値は、性的指向（訳注：ラピノーは同性愛者であることを公言している）とは関係がないことを実感するようになります。女子ワールドカップでゴールデンボールとゴールデンブーツをさらったラピノーが10日（現地時間）、ニューヨークで開催された米国女子サッカー代表チームの歓迎パレードイベントでも特有のスワッグ（訳注：Swag,）と印象的な演説で、再び人気を独り占めしました。ラピノーは米国女性のロールモデルとして急浮上しており、さらに2020年米国大統領選挙でドナルド・トランプ大統領と対戦する場合、42%対41%で勝利するとの世論調査まで出ました。歓迎の人波の中には「ラピノーは私たちの女王」というプラカードを持った少女もいました。スポーツスターを越えて新たな女性像を象徴するアイコンとして浮上する雰囲気です。この日のパレード行事の中でラピノーのスワッグを示す一つのシーンがありました。片手にはトロフィーを、片手にはシャンパンを持ったラピノーが大声で叫んだ。「私はこういう資格を得た」

自分たちが成し遂げた業績を自ら賞賛するラピノーの姿についてハフポストは、「すべての注文を終える注文」と評価した。

すべての歓迎行事がそうであるように、この日の行事でも多くの人が演説したが、ニューヨーク市庁前広場を埋めたファンたちを引きつけたのは、やはりラピノーでした。

「私たちは気味が悪い。ピンクの髪もいて紫色の髪もいる。タトゥーもいて、レゲエヘアもいる。白人もいて、黒人もいる。私たちチームにはいろんな人がいる。普通の女性もいて、ゲイもいる。」

ラピノーは戦いを恐れないだけでなく、自分の方法で話し表現することも恐れませんが、ラピノーはサッカーの話ばかりしませんでした。彼女は「私たちは、より多く愛し、あまり憎まないようにすべきだ。もっと聞いて、あまり言わないようにすべきだ。これが私たち皆の責任であることを知るべきだ」とし「私はこの代表チームがその責任を肩に背負う巨大な仕事をしていると考えている」と言いました。「そうだ。私たちは、スポーツ選手だ。そうだ。私たちはサッカーをする。そうだ。私たちは、女性選手だ。しかし、私たちはそれ以上の存在だ。皆さんもそれ以上の存在だ。」

ラピノーの演説は社会関係網サービス（SNS）ですぐに話題になりました。「大統領ラピノーが就任演説をしている」という評価も出ました。ラピノーを伝説のボクサーのモハメド・アリと比較する見方もある。正義についての認識、大衆を説得させる弁舌、恐れることなく自分の意見を言う点が似ているということです。

もちろんラピノーについて肯定的な反応だけではない。ラピノーの政敵、政治的指向のために反感もたくさん買います。この日のパレードを控え、地下鉄の駅からラピノーのポスターが同性愛嫌悪文で毀損された。そう、ラピノーの演説の最後はこう終わりました。「ニューヨーク市、お前は本当に（mother f～）最高だ。」

原文出所

http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?artid=201907112058005&code=980201

03 KBS 2019.7.6 【往年のバスケットボールのスターたちが集まり学校スポーツクラブで草の根変える】

[アンカー]

女子バスケットボール往年のスターたちが参加するユースバスケットボール大会が開かれました。スポーツクラブの活性化を通じてバスケットボールの裾野を広げたいということでしょう。金ドファン記者が取材しました。

[レポート]

京畿道の小学生 200 人がこれまで磨き上げた技量を競うためにバスケットボールのコートに集まりました。

【シン・ミンギョン/新風小学校：「あきらめずに本物のプロ選手たちがするように熱心に歯を食いしばって走ります。」】

朴チャンスクから朴ヨンウンと金ウンへまで週に 2 回、指導者として参加した女子バスケットボールのスターたちが応援部隊に変身しました。

[金ウンへ/全女子バスケットボール代表：「バスケットボールに興味を持って楽しめば、バスケットボールのブームが起こせると思います。」】

今回の大会は同点の場合、延長せずに引き分け処理し、チーム別順位をなくすなど、競争ではなく楽しむバスケットボールを強調しました。引退バスケットボール選手 18 人が京畿道小学校の 50 スポーツクラブのリーダーとして活動したプログラムの最初の結実です。バスケットボールの底辺も広げ引退選手の進路の新しい方向も提示したという点で意味があります。

[李ジェジョン/京畿道教育長：「私はエリート選手たちも運動を楽しむ人々の中から排出できると思います。スポーツを広く楽しむようにすれば、自然にエリートが出ますよ。」】

女子プロバスケットボール連盟は 2 学期からは参加対象を中高校に広げ、今後、他の地域にも拡大推進する計画です。

*原文出所

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4236842&ref=A>

出典 : <https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20190605026002>

INFOMATION

体育市民連帶 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 슌죤뵆빌뵆 305 号

체육시뵆연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌뵆 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com